

11月生活保護申請
2.7%増の1万9000件

3カ月連続微増

厚生労働省は三日、昨年十一月の生活保護の申請件数は一万九千七十二件で、前年同月と比べ2.7%(五百件)増えたと発表した。三カ月連続で微増となった。

担当者は背景について「雇用情勢が悪化した影響が出始めたのではないかとみている。受給を始めた世帯は前年同月から2.6%(四百二十五世帯)増え、一万六千九百五世帯となった。

政府は二日、新型コロナ

ウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を十都府県で延長すると発表しており、暮らしへの打撃は長期化しそうだ。申請は今後さらに増える可能性がある。

全体の受給者は二百四万八千六百七十五人で、前年同月から1.1%(二万三千七十二人)減った。受給世帯は前年同月比横ばいの百六十三万六千四百十一世帯。六十五歳以上の受給世帯は九十万二千二百四十九世帯となった。